

[普及事項]

新技術名： リンゴ新殺菌剤の実用化（昭和61～平成6年）

研究機関名 果樹試験場環境部病害担当・鹿角分場
担当者 浅利 正義・水野 昇 他3名

[要約]

マネージ水和剤3000倍及びブローダ水和剤500倍はリンゴの開花期前後の防除剤として実用性が高い。フロンサイドSC2000倍及びキノンドーフロアブル800倍はリンゴの夏期総合防除剤として実用性が高く、また、フロンサイドSCはハダニ類の発生に対し増殖抑制効果を示した。

[ねらい]

マネージ水和剤、ブローダ水和剤のリンゴ黒星病等に対する防除効果を検討し、開花期前後の防除剤として実用化を図る。フロンサイドSC、キノンドーフロアブルの夏期総合防除剤として実用性を検討する。

[技術の内容・特徴]

1) 材料及び方法

昭和61年～平成6年の期間に、黒星病、赤星病、うどんこ病、斑点落葉病、褐斑病に対する防除効果や葉害などについて試験を行った。また、平成4年～7年の期間には、フロンサイドSCのハダニ類に対する抑制効果について試験を行った。

2) 結果

- (1) マネージ水和剤3000倍及びブローダ水和剤500倍はEBI剤及びその混合剤であり、リンゴ黒星病、赤星病、うどんこ病に対し高い防除効果を示し、葉害は認められなかった。したがって、両剤は開花期前後の防除剤として、すでに採用されている防除剤と同様に使用できる。
- (2) フロンサイドSC2000倍は、斑点落葉病に高い防除効果を示し、褐斑病やすす斑病、すす点病などにも有効であった。また、ハダニ類に対し発生抑制効果を示した。本剤は夏期総合防除剤として実用性が高い。
- (3) キノンドーフロアブル800倍は、すでに採用されているキノンドー水和剤と同等の防除効果を示し葉液調整時の粉末飛散がなく安全である。

[普及対象範囲]

全県（リンゴ）

[普及・参考上の留意事項]

- (1) マネージ水和剤及びブローダ水和剤は、他のEBI剤やEBI混合剤と同様に開花直前及び落花直後に散布するが、マネージ水和剤は必ず他の保護殺菌剤と混用する。また、耐性菌発現回避などの点から、他のEBI剤やEBI混合剤を含め、年間使用回数を2回以内にとどめる。
- (2) フロンサイドSCのハダニ類に対する発生抑制効果は、2～3回連続散布した場合に得られるが、その後増加するので、殺ダニ剤の散布が遅れないように十分に発生状況を観察する。また、本剤はかぶれを生ずる場合があるので注意する。

[具体的なデータ等]

第1表 マネージ水和剤の黒星病に対する防除効果 (秋田果試鹿角分場、昭63年)

供試薬剤	使用濃度	調査 新梢数	罹病 新梢率	調査 葉数	罹病 葉率	サビ果 発生度	葉 害
マネージ水和剤	3000倍	45	7.8%	802.0	0.5%	4.2	—
オーソサイド水和剤	800	45	63.3	764.5	5.6	5.7	—
無散布	—	45	100	809.5	62.9	7.1	—

散布月日：5/14、5/25、6/6、6/16、6/27

調査月日：7/11~12

供試品種：ふじ/M26 12年生

第2表 プロダ水和剤の黒星病に対する防除効果 (秋田果試、昭61年)

供試薬剤	使用濃度	調査 そう数	発病 そう率	調査 葉数	発病 葉率	葉 害
プロダ水和剤	500倍	180	0.6%	1121	0.1%	—
サンアップ水和剤	600	244	12.3	2227	2.0	—
無散布	—	180	62.2	1376	15.4	—

散布月日：5/8、5/21、5/31、6/9、6/23

調査月日：7/2

供試品種：ふじ/M26 6年生

第3表 フロンサイドSCの斑点落葉病に対する防除効果 (秋田果試、平5年)

供試薬剤	使用濃度	8月2日				9月6日				葉 害
		調査葉数	病葉率%	落葉率%	発生度	調査葉数	病葉率%	落葉率%	発生度	
フロンサイドSC	2000倍	866	2.7	0	0.4	1105	4.8	0.7	1.4	—
トモキソリン和剤	500倍	809	2.6	0	0.4	982	14.0	1.1	3.2	—
無散布	—	881	25.4	0	3.9	951	81.9	11.3	35.6	—

散布月日：7/7、7/16、7/30、8/13、8/24

調査月日：8/2、9/6

供試品種：スターキング/マルバ 9年生

第4表 フロンサイドSCのハダニ類に対する抑制効果 (秋田果試、平7年)

供試薬剤	区	6.23	6.30	7.10	7.19	7.31	8.10	8.21	9.1	9.11
フロンサイドSC 2000倍	I	0.77	0.44	0.34	0.40	5.47	3.11	10.36	0.00	0.00
	II	2.87	5.52	7.80	3.31	2.44	0.51	3.56	4.70	5.29
対照区	III	0.23	0.42	1.92	5.47	2.58	1.59	15.69	0.09	0.60
	IV	0.83	0.63	2.91	15.11	2.74	0.31	1.29	0.10	0.31

散布月日：I区 6/22、7/6 II区 7/6、7/18

殺ダニ剤散布：I、III、IV区 7/18 ダニトロン F 1000倍

III、IV区 7/26 マトサインB E 1000倍

I、II区 8/10 ビラニカ WP 1000倍

I、III、IV区 8/21 マイト WP 750倍

II区 8/22 マトサインB E 1000倍

I区 8/31 テルスター WP 1000倍

第5表 キノンドーフロアブルの斑点落葉病に対する防除効果 (秋田果試、昭61年)

供試薬剤	使用濃度	調査葉数	病葉率%	発生度	葉 害
キノンドーフロアブル	800倍	570	44.7	7.4	—
サンアップ水和剤	600	400	65.0	11.9	—
無散布	—	320	85.6	27.9	—

散布月日：8/14、8/23、9/10

調査月日：9/10

供試品種：スターキング/M26 6年生

[発表文献等]